

**平成24年度 事務事業評価シート**

事業の概要	事務事業名	《橋りょう維持補修事業》						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	道路課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		23 道路		3 橋りょうの計画的な管理を進める				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	2	目	4	大	3	中	
	根拠法令・個別計画	道路法									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	70 %		委託	30 %		助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	橋りょうの長寿命化修繕計画の策定など、計画的な維持管理を進め、橋りょう管理コストを縮減するとともに、安全性を向上させる。また、耐震設計を行い、耐震工事を行うことにより、震災時の緊急輸送、避難のための道路網を確保する。									
	内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検委託により橋りょうの現状を把握し、計画的な補修・耐震補強工事を行う。</li> <li>・職員は、委託、工事の設計積算及び施工管理を行う。</li> </ul> <p>○直接経費の内訳 【委託業務内容】 測量設計業務委託 (委託料: 7,199千円) 大耕橋、常普請上橋、井領橋、中池橋 橋りょう現況調査委託業務委託 41橋 (委託料: 7,362千円) 橋りょう清掃業務委託 1件 (委託料: 1,449千円) 橋りょう耐震整備計画委託 1件 (委託料: 787千円) 【工事内容】 橋りょう耐震補修工事 2橋 (工事請負費: 19,977千円) 砂原橋、高瀬橋 橋りょう補修工事 2橋 (工事請負費: 13,959千円) 北屋敷橋、矢戸川3号橋</p>									
受益者負担	無										

			単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	73,613	65,638	50,733
正職員			従事者数	人	0.85	0.85	0.85	0.95
			人件費	千円	4,521	4,521	4,521	5,053
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計			千円	78,134	70,159	55,254	86,353	
対前年比		%		89.7	78.7	156.2		
財源	一般財源		千円	78,134	61,441	44,468	72,053	
	国・県支出金		千円	0	8,718	10,786	14,300	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	橋りょう定期点検の実施箇所	橋	目標		34	40	40
実績				39	44	41	
耐震補修工事実施橋梁	橋	目標		2	2	3	3
		実績		2	3	3	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
			橋りょう定期点検の実施箇所の割合	%	目標	17	25
			実績	17	25	33	
累積耐震工事実施橋梁	橋	目標		39	41	44	47
		実績		39	42	45	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	橋りょう長寿命化計画を策定するために必要となる、橋りょう定期点検を進め、災害時の緊急輸送、避難路を確保するために計画的に耐震及び補修工事を実施している。また、通常時の交通利便性・交通安全性の向上も図られている。
		事業実施における課題等	橋りょう定期点検において、耐震及び補修が必要と判定された橋において、耐震・補修工事が追いついていない。橋りょう長寿命化のために、今後工事費の増額が必要とされる。
		事業を縮小・廃止したときの影響	橋は震災時の緊急輸送、避難のための道路網など、住民活動を営む上で重要な施設である。適切な点検に基づいた補修を行う必要があるため、廃止をすればこれらの機能を果たせなくなる。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	継続的に橋りょう定期点検を進め、また、計画的に耐震及び補修工事を行うことにより、災害時の緊急輸送、避難路を確保することができることとなるため、今後も現状のとおり継続的に事業を実施する必要がある。	
	改善案等	国からの補助金を事業費に充当することにより、事業費を抑えながら計画的に事業を実施していく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。